

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 第2回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和7年12月10日(水) 15:00~17:00		
開催場所	湘南支援学校 会議室		
出欠席者	学校運営協議会委員出席9名、事務局(本校職員:出席9名、欠席1名)		
次回開催予定	令和8年2月20日(金) 15:00~17:00		
問合せ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 比留川 はるか 電話:0463-34-7244 FAX:0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・回議経過	○会長挨拶 「共に生きる社会」「障害者週間」「国連権利宣言採択50周年」について ○学校長挨拶 地域・企業・学校が連携し、子どもたちを支える重要性を確認 (1) 1、2学期の取り組みについて→各学部の授業等教育活動の紹介 ★重点目標よりコミュニケーションの向上に取り組んだ。その中から3つをあげる。 ①高等部の生徒が開いてくれた「音楽遊びの会」では、異年齢間の温かいコミュニケーションの場面がみられた。 ②高等部の校内実習で作ってもらった看板を受け取り、「ありがとう」の気持ちを伝えることができた。 ③作品展示が多数あり、様々な場所で作品を見てもらい、校外に知ってもらうことができた。 ★重点目標となっている取り組みについて紹介する。 ①ICTの活用として、朝の会の司会で iPad のタッチ機能を使うことで発語のない生徒も音声で司会進行をすることができた。 ②意思決定支援に力を入れた。Tシャツを自分の意志で選ぶことができるよう支援を工夫した。 ③修学旅行や宿泊学習に向け事前学習に取り組みその効果が確認できた。 ④前回、保護者からの学校評価でICT活用に関する評価が低かったことを受け、その発信を強化した。学部だよりのコーナーで毎月、発信をした。 ⑤受注作業では依頼主が身近にいることや成果をたくさんの方に見てもらえる効果があった。 ⑥作業班販売会では、生徒がお互いの作業班に買い物へ行った。生徒間のリスペクトがあり、思いがけない成果も見られた。		
事務局 (小学部 L)			
(中学部 L)			
(高等部 L)			
(支援連携 GL) (管理運営 GL) 代理:事務局	○切れ目ない支援部会より ※資料の通り ○防災安全部会より ・火災の避難訓練を行った。避難訓練のスケジュールとして行方不明者の捜索は消防隊が到着後に行うよう指導を受けた。部会の中でも確認した。また、8月の津波警報発令について意見交換した。福祉避難所となっている本校が、避難を希望する方がいる場合は第一段階として受け入れることにするという確認を行った。さらに、来年度はシェイクアウト訓練を毎月することで防災意識を高めたい。 (2)第2回学校評価部会 ※事務局より補足説明 1 教育課程・学習指導 ・校内研究で月に一回、研究日を設けている。事例を挙げて行うことで一人ひとりに合った指導の充実を図っている。 ・小学部では、年間評価を作成する際「個別教育計画作成の手引き書」を使用している。手引き書を使用することで、チームが共通理解の上で一人ひとりの指導をしっかりとしていくことができる。 ・中学部では振り返りシートを使って教員同士で授業力を上げている。 ・高等部、一人一台端末の活用で授業内容を工夫している。 2 児童・生徒指導・支援		
事務局			

	<ul style="list-style-type: none"> ・月予定表にシンボルマークやシンボルを添付し家庭に配付した。 ・生徒指導対応マニュアルを作成して事案が発生したときの対応についての共通認識を確認した。 <p>3 進路指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言が難しい児童生徒に iPad などの代替手段を工夫した。 ・電子黒板 27 台届いた。教員たちが使い方を考えて使用している。 ・校内実習で何を学んでいるのかお知らせしたり、企業や事業所の方に伺ったことを通信で保護者に伝えたりすることができた。 ・小中高それぞれの発達段階でカードの使い方等のコミュニケーション支援を相談しながら行った。 <p>4 地域等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 4 校の協力で作品展が充実した。 ・「みんなの楽しめているか」では約 120 人の参加があった。 ・学校間交流、居住地交流を実施した。 <p>5 学校管理 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害を想定した避難パターンを作成した。 ・「さん付け呼称デイ」を発案した。人権尊重の視点をもって全員で意識して行う。 ・学校生活アンケートを年間 2 回行い、生徒や保護者の困りごとの把握に努めた。小さなことでも共有し、速やかな対応につなげている。 ・働き方改革の推奨の一環としてオフィス改善を行った。机・椅子を新しい物にし、職員室・厨房・事務室・保健室などが改善される。
委員1	<p>Q: 大きなテーブルをみんなで使うようなフリーアドレスは採用しなかったのか。</p> <p>⇒ 検討したが、他校の例などを参考にストレスのない環境を優先した。</p> <p>(3) 協議</p>
委員2	<p>◎自分の娘は雑巾がけができるようになった。体幹が弱く恐怖心が強くてできなかつたが、練習を積みできるようになった。「くれよん」からのアドバイスを教員と共有し、それにプラスアルファの工夫で指導してくれた。とても感動した。できることが増え、自己肯定感が上がり、自分からやるという気持ちが育った。</p>
委員9	<p>⇒毎日よりよい授業のために、振り返りや意見交換しながら改善している。</p>
委員3	<p>◎子ども達が明るくてとても良い。地域の小学校や中学校が交流する際、お互いにいいところを見る経験が大切だと思う。先生たちは大変だが、その結果が形に表れている。その評価は保護者が言ってくれることではあるが、先生たちのストレスや頑張りがどう評価されているのかを知りたい。そして、様々な改善は資金を得ることが必要だと思う。</p>
委員9	<p>⇒管理職はメンタルなどの理由で教員が休まないように配慮している。パソコンの使用履歴である程度の勤務時間が読み取れる。また、校内巡回をすることで子どもの様子、朝の様子、給食の様子、帰りの会、下校などの場面を見ている。先生方の笑顔が見られると安心するが笑顔がないと心配。できるだけ声をかけるようにしている。また、人事評価システムである程度給与に反映させている。なによりもふだんからのコミュニケーションに日々、大切にして努力している。</p>
委員1	<p>Q: 中学校の先生方の残業時間がニュースになっているが、本校はどうだろうか。</p>
委員9	<p>⇒ひとりの先生に負担がかからないようにしている。</p>
委員4	<p>◎公民館まつりでは生徒の絵画の展示で協力いただいている。先生方の努力、大変なことをされている。心から尊敬している。また、先月清掃班が窓ふきと落ち葉清掃をしてくださった。「今日は支援学校の生徒が清掃をしてる」と利用者にアナウンスすると、帰りがけに声をかけてくれたりするのではないかと思うが、いかがだろうか。</p>
事務局	<p>⇒ぜひ、お願いしたい。支援学校の生徒がどう発信していくのかは課題の一つでもある。</p>
委員4	<p>生徒たちも直接、褒めていただいたらしく言葉をかけてもらえた嬉しく思う。</p>
委員5	<p>◎発達に課題のあるお子さんの相談をしている。その中で支援学校の評判が非常によい。支援学校に進学したい方が多く、どうしたら入れるのかと保護者はとても熱心である。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会でも意思決定支援を大事にしている。幼少期からの意思決定支援の手順を踏んでいくことが大事であり、この学校で行っている「段階を踏んだ指導」がよいのだと感じた。 ・地域の学校か支援学校か迷っている保護者には、支援学校の先生方が巡回して地域の学校を支えていることも伝えている。「地域の学校もあるし、支援学校もある」と、選択できるということを伝えるのが大事である。
委員6	<ul style="list-style-type: none"> ◎『企業と語ろう』の際、保護者の方は、自分の子どもが高等部を卒業した後どんな将来なのかなど心配な様子だった。しかし、特例子会社を見学されている方は少ない。先生経由で申し込んでいただければ受け付けるのでご遠慮なく見学にお越しいただければと思う。
委員9	<p>⇒保護者には将来の不安があり、その不安を除去するのが大事な仕事。今後も情報提供をしていきたいのでご協力いただきたい。マッチングが重要で本人の意志をしっかり確認するようにしている。</p>
委員7	<ul style="list-style-type: none"> ◎湘南支援学校のセンター的機能を活用させていただいている。非常に感謝している。 ・いろいろな視点、さまざまな分野からの取り組みが効果を發揮している。昨年の評価を反映させ、すぐにたよりでICTの取り組みの発信をしていることがよい。
委員8	<ul style="list-style-type: none"> ◎オフィス改善が進んでいると聞いてよかったと思う。働く人がやるべきことに集中できる環境は大事。他の学校でオフィス改善したとき、談話ができるようなテーブルがあるといいと伺った。そういう場所ができるといい。 ・企業と語ろうでは、体育館でたくさん的人が参加しているのにスクリーンが小さいのでは?と思った。資金的に厳しいのかと思ったが。 ・昨年度の評価を反映させた取り組み、先生方のやる気が満ち溢れている。さん付けデイなど、いいことだと思っていても実行に移すことは大変なので。 ・支援学校のニーズが高まっている。国としてはインクルーシブ教育、権利条約に言及しているが、ふたを開ければ保護者は支援学校を選ぶ。矛盾も感じるが、支援学校の中でインクルーシブ教育を進めることが重要ではないかと考えている。
委員1	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域のマンパワー減少も課題ではないかと思う。連携や合併で社会資源を残していくことか。支援学校は福祉・教育・防災の拠点でもある。権利条約も日本の良さ(やってきたことなど)を生かしていくといけないのではないかと思う。共に生きる社会が進むとよい。
委員1 事務局	<p>Q:アンケートの内容とはどのようなものなのか</p> <p>⇒6月の学校生活アンケート(学校の書式)は、「学校で困っていることはありますか」などの質問がある。12月には県の書式で体罰セクハラアンケートをしている</p>
事務局	<p>(4)事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤や臨時の任用職員、教員免許のない方としては教育アシスタントを募集している。そのチラシを回覧板などに入れていただくことはできないだろうか。
委員3と委員4 事務局	<p>⇒協力できると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次回について <p>令和8年2月 20 日(金) 15:00~17:00 を予定している。、</p>